
多面的機能支払 メールマガジン

「農村ふるさと保全通信」 第 94 号(2020. 9. 18)

農林水産省農村振興局 多面的機能支払推進室



高めよう 地域協働の力!

多面的機能支払のメールマガジン「農村ふるさと保全通信」の第 94 号をお届けします。

今回の活動組織紹介では、女性参画拡大に向けた取組に加え直営施工による地域資源の管理に積極的に取り組む組織について紹介します。また、愛媛県宇和島市の組織が作成した広報誌についても紹介します。

事務局からは、令和元年度の実施状況について紹介します。

--- 第 94 号の目次 ---

1. 活動組織の紹介

☆ ^{おか}岡 農地保全会 (兵庫県 ^{かみこおり}上郡 町) ☆

2. 活動組織の広報誌紹介

☆ みま (愛媛県宇和島市) ☆

3. 令和元年度実施状況をホームページで公開しました!

(編集後記)

■ 1. 活動組織の活動紹介

～ 岡^{おか}農地保全会(兵庫県 上郡^{かみごおり}町)～ ■

～地区概要～

兵庫県最西端の上郡町南西部に位置する自然豊かな岡地区を拠点に活動。活動範囲は、田 15.2ha、畑 2.0ha。対象施設は、水路 6.3km、農道 3.0km、ため池 4か所。

～主な取組～

- ◎本組織では、小規模で高齢化が進む中、「自分たちで守る！みんなでひと汗かこ岡！」をモットーに、地域ぐるみで次世代へ繋ぐ活動を展開。
- ◎女性参加拡大に向けて、アジサイの植栽や婦人会との交流会の他、草刈り講習を実施している。
- ◎安全対策として、ため池の急傾斜かつ長大な法面を高齢者でも安全に草刈りできるように足場を直営で設置。その結果、安全かつ高齢者でも効率的な草刈りが可能に。
- ◎水路やため池の長寿命化に向けた補修も直営施工により実施してコスト削減を図るとともに、施設への愛着を高め、管理意識の向上に努めている。



女性を対象とした草刈り講習



ため池法面の足場設置



直営施工によるため池の補修

【岡農地保全会】

■ 2. 活動組織の広報誌紹介（第2弾）

～「みま」の組織（愛媛県宇和島市）～■

本交付金では、資源向上活動の1つに啓発・普及活動が位置付けられており、多くの組織が特色のある広報誌を発行しています。

本記事では、愛媛県宇和島市の活動組織が作成した広報誌の画像や作成のポイントを掲載しています。広報誌の画像がご覧になれない方は、以下のURLをご利用ください。

▽農村ふるさと保全通信 HP▽

https://www.maff.go.jp/j/nousin/kanri/tamen_siharai/nouson_furusato_hozen/index.html

— みま —

令和元年度は、役員と相談しながら事務局で広報誌を作成し、自治会向けに紙媒体で配布しました。

本活動組織では100を超えるため池の維持管理を実施していますが、高齢化や人手不足が深刻化するなかで、特に法面の草刈りを持続的、効率的かつ安全に実施していく方法を模索しております。そうしたなかで、令和2年度は、メーカー2社による自動草刈機のデモンストレーションを実際にため池の現場で実施する計画ですが、この内容を次回の広報誌へ掲載する予定です。

☆広報誌の内容☆

令和元年度に27の既存活動組織が合併し、「みま」を設立したことを機に、令和元年12月12日に広報誌「みま」第1号を発行しました。第1号では、活動組織設立に対する代表者の思いや、「みま」のまとまりをロゴマークで表現しています。

掲載内容は、設立総会、多面的機能支払の農地維持支払、資源向上支払（共同）と資源向上支払（長寿命化）の活動について分かりやすく掲載するよう心がけています。

また、多面的機能支払交付金のロゴマークを活用し事業のPRを行っています。

☆広報誌をたくさん読んでもらう工夫☆

A4用紙1枚（両面）の中にコンパクトにまとめて作成。写真を多用し文字を少なく、ポイントを大きくすることで年配の方にも読みやすくなるよう工夫しています。

宇和島市の広報誌に挟んで旧三間町内全戸に配布することで、活動組織「みま」の存在を広く周知できました。

将来的には、ドローン撮影した活動写真を掲載したいと考えています。

ポイント1 活動の写真を多く使用し、伝わりやすさを重視！

多くの写真で活動内容を分かりやすく伝えていきます。活動イメージをハートや渦巻模様にする事で表現。また、文字数は極力少なくし、文字を大きくすることによって、分かりやすくなるよう工夫しています。

ポイント2 ロゴマークで地域のまとまりを表現

27地区が統合したことでまとまりができたことをロゴマークで表現する工夫をしました。ロゴマークは、旧三間町のロゴマークを元に、土、水、緑で色分けし、中心には、地域の代表的な景観作物のコスモスの種子をイメージし配置しています。

ポイント3 みま設立にあたっての思いを簡潔に表現

『みま設立にあたって』では、分量こそ少ないものの、令和元年度に27地区が合併して設立した組織について地域環境を未来へ紡いでいきたいという代表の熱い思いを伝えていきます。

令和元年6月27日「みま設立総会」



濁水の防止の取り組み



農業用施設の長寿命化の取り組み



「みま設立にあたって」

みま代表 清家 辰也
三間町内27地区の組織が集まり
6月27日「みま」が誕生しました。
「みま」ではこれまでの活動に加え
一部の組織しか取組みのなかった長寿命化工事にも
取り組みます。今後とも三間の田園風景を未来へ紡いで
いくための活動にご協力ください。
最後に、「みま」設立にご協力いただいた関係各位のご
尽力に感謝いたします。



お問い合わせ先

みま事務局
宇和島市三間町宮野下835番地
宇和島市役所三間支所 産業建設係内
TEL 0895-58-3311 (内線5718・5720)
mail mima-tecity.uwajima.lg.jp

2019-12-12-No.001

■ 3. 令和元年度実施状況をホームページで公開しました！ ■

農林水産省では、8月28日に令和元年度の多面的機能支払交付金の実施状況を公表しました。

令和元年度は、約2万7千の組織により、約227万ヘクタールの農用地で本交付金を活用した活動が実施されました。

基礎的保全活動である農地維持支払の実施面積は前年から約1万9千ha減少しましたが、農用地面積に占める割合（カバー率）は55%と横ばいでした。

農林水産省では、本制度の更なる拡大に向け、活動組織及び関係機関の皆様とともに、共同活動による効果のPRや制度の普及・啓発を図ってまいります。

▽実施状況の取りまとめ資料はこちらから（農水省ホームページ）▽

<https://www.maff.go.jp/j/nousin/kanri/r1jissi.html>

【農林水産省 多面的機能支払推進室】

■ 編集後記 ■

近頃、寝苦しい夜が減ってきて、夏の移ろいを感じるようになってきました。夜は過ごしやすくなってきたものの、昼間はまだまだ夏の陽射しが厳しいです。先週、所属している草野球チームの試合があり、日陰のない河川敷で太陽に2時間焼かれフラフラになってしまいました。組織の方々におかれてもまだまだ油断せず、屋外での活動の際にはこれまでどおり暑さ対策を継続してください。



◇バックナンバー◇

https://www.maff.go.jp/j/nousin/kanri/tamen_siharai/nouson_furusato_hozen/index.html



バックナンバーはこちらからもご覧いただけます！→

◇「多面的機能支払交付金のロゴマーク」◇

ロゴマークは以下のサイトからご利用になれます。

どんどんご活用ください！！



高めよう 地域協働の力！

https://www.maff.go.jp/j/nousin/kanri/attach/pdf/tamen_siharai-31.pdf

◇配信先メールアドレスの変更・配信解除等◇

メールアドレス等の変更やメールマガジンの配信解除等は以下のサイトから！

<https://www.maff.go.jp/j/pr/e-mag/>

手続きにはパスワードが必要です。

お忘れの場合は、以下のサイトでパスワードを再発行して下さい。

<https://www.maff.go.jp/j/pr/e-mag/re.html>

◇ご意見・ご感想等◇

メールマガジンに関するご意見・ご感想や取り上げて欲しいテーマ、ご自身の所属する活動組織の紹介文（300字程度）等に関するメールをお待ちしております！！

tamen_ml@maff.go.jp

【発行】

〒100-8950 東京都千代田区霞が関1-2-1

農林水産省農村振興局整備部農地資源課

多面的機能支払推進室（担当：岡田、小林）

TEL：03-3502-8111（内線5493）